

Welウェルなかがわ

WellはWelfare(ウェルフェア)=幸福、福祉という意味の英語からとりました。

編集・発行 社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

第35号

発行 / 2009.3

中川区社会福祉協議会 第2次地域福祉活動計画ニュース

平成19年9月、計画づくりに参加してくれる区民の公募委員を募集し、平成20年3月から本格的に第2次地域福祉活動計画（H21～H25の5か年計画）の策定作業が始まりました。

約1年間、会議を重ね、下記の4つの項目を計画の柱にすることが決まりました。今後、区民の皆さまに計画の内容をお伝えしていく予定ですが、これまでの議論の内容を次ページに簡単に紹介します。

計画の内容を詳しくお知りになりたい方や計画の実行に興味のある方・協力いただける方は、本会までぜひご連絡ください。

たまり場づくり

誰もが気軽に立ち寄れる、身近な場所でのたまり場をつくり、情報交換や相談の機会の増加を図ります

福祉の環境づくり

学校や地域において、福祉体験の学習機会を提供することで、いろいろな立場の人を理解をするとともに、思いやりの心を育みます

4つの柱 ネットワークづくり

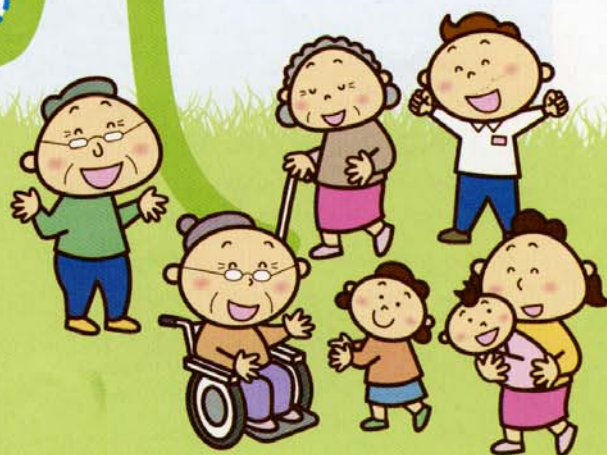
交流の機会の拡大を通して、近隣住民同士の助け合いのネットワークづくりを推進します

担い手づくり

住民組織の活性化によって、地域住民による主体的な地域課題の発見や課題の解決を目指します。

今号の内容

- 第2次地域福祉活動計画ニュース 1～2
- 地域包括支援センターからのお知らせ 3
- 名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業紹介 4
- 平成20年度赤い羽根共同募金実績報告 5
- 平成20年度賛助会員加入状況報告 5
- ボランティア情報 6
- 寄付のお礼 6



計画づくりにたずさわった方々の 熱い想いが込められて・・・

「高齢者」「障がい者」「児童」の3つのワーキンググループで、それぞれの分野の課題を洗い出し、解決方法を議論・検討してきました。

どのグループ、どのメンバーにも、「誰もが地域の中で豊かに暮らせる中川区を目指したい！」という熱い想いがありました。これから計画を実行していく過程で、そのひとつひとつの想いを実現していきたいと思います。



高齢者

高齢者のワーキンググループでは、近所づきあいが減少してきていることで、「地域から孤立している人」や「地域の情報が届いていない住民がいる」という課題をもとに、誰もが気軽に立ち寄ることができる「たまり場」づくりについて議論をしました。

「たまり場」を通じて、緩やかな住民同士のつながりができ、孤独死の防止や災害時の助け合いの仕組みづくりにも取り組めるのではと思います。



障がい者

障がい者のワーキンググループで議論されたのは、「障がい」や「障がい者」に対する理解が、地域の中で少ないという課題についてでした。ひと口に障がいと言っても、身体の障がいがあったり、精神の障がいがあったりと、ひとくくりにできない側面があります。

しかし、こうした障がいの種類に関係なく、実際に交流することで、障がいの特性を理解したり、あるいは支援方法を学ぶきっかけとなるような計画づくりを目指してきました。

「できるだけ自然に」「もっと気軽に接することができるように」という視点を持ちながら、さまざまな企画を検討しましたので、計画の実行にご期待ください。

児童

児童のワーキンググループでは、世代間交流が十分でないために、地域ぐるみで子育てをする意識が薄れていることや子どもたちに命の大切さを伝える機会が減っていることについて、解決する方法を議論しました。

世代間交流については、高齢者のワーキンググループでも必要性を話し合っており、さまざまな世代が交流することで相互理解を深め、新しい関係づくりを推進し、地域の活性化を目指します。

また、子育て世代が学生に命の大切さを伝える機会を作るなど新しいプログラムの提案を通して、福祉教育の拡充を図ります。



認知症高齢者を介護する家族の方々へ

地域包括支援センターでは、昨年度から認知症高齢者を介護する家族の方々への事業に取り組んでいます。



家族教室（6回コース）

～認知症について学びます～

無料です



わかりやすく教わります

介護している家族を対象に認知症の基礎知識や接し方について医師や施設職員等から学ぶ教室です。（4月・10月開講、毎月1回）

【参加された方の声】

「認知症のことが勉強でき、介護するにも気が楽になりました。」
「認知症への理解が深まって、接し方が変わりました」

21年4月から、新しい教室が始まります。
日程・内容などについては、下記にお問い合わせください。

家族サロン（憩いの場）

ひとりじゃない ～みんなでお話ませんか～

無料です



月に1回、認知症の方を介護している家族の方など同じ思いをもった方が、日ごろの介護の工夫や悩みごとなど、何でも話しあえる交流の場です。

【参加されている方の声】

「介護の悩みなどを気軽に打ち明けることで介護ストレスや疲労感が軽くなり助かります。」
「月に一回ここに来ると、同じ思いの方々と話すことでみんなから元気をもらえ、介護に戻ることができます。」

随時参加者を募集していますので開催日などについては、下記にお問い合わせください。

医師（物忘れ相談医）による専門相談

無料です



あれ？最近なんだか様子がおかしいな。と思ったら・・・早めの対応が大切です。

月に1回、物忘れ相談医が認知症の症状や治療についてのお困りごとの相談に応じ、不安の解消や早期発見、早期治療に向けたアドバイスをを行います。

【主な相談内容】

「最近、夫のものの忘れがひどくなってきた・・・」「もの忘れの薬をもらっているのだけど効果はあるの？」「一度、専門医に診てもらいたいと思うのだけど・・・」「昼夜逆転して介護に困っています」などについてアドバイスを行っています。

※相談は予約制です。日程などについては下記にお問い合わせください。

問い合わせ・申込み

※お住まいの学区により、担当する地域包括支援センターが決まっています。

広見、露橋、八熊、八幡、愛知、常磐、篠原、昭和橋、
玉川、中島、西中島学区にお住まいの方

東部地域包括支援センター 電話354-8343

野田、荒子、正色、五反田、戸田、春田、豊治、長須賀、
西前田、万場、千音寺、赤星、明正学区にお住まいの方

西部地域包括支援センター 電話352-8258



名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業

高齢者はつらつ長寿推進事業（中川区の場合、通称「みつば会」）とは、レクリエーションや健康体操などを通じて「介護予防」をするとともに、この事業でできた仲間と一緒に地域への貢献活動などを行うことで、元気でいきいきとした生活が送れるよう支援する事業です。各会場毎週1回ボランティアさんの協力を得て実施しています。

- 参加対象者** 市内在住の65歳以上の方
- 実施期間** 年に2期開催（4月～9月、10月～3月）
- 会場** 中川区16会場（下の表をご覧ください）
- 定員** 各会場20名（定員に満たない場合は随時申込受付します）
- 参加費** 無料（ただし、材料費などの実費負担あり）

※興味のある方、詳しくお知りになりたい方は中川区社会福祉協議会へお問い合わせください。

笑いあえる
仲間って
いいね



中島公民館参加者の外出時の様子（白鳥庭園にて）

実施会場一覧

火曜日	9:30～11:30	広見コミュニティセンター	木曜日	10:00～12:00	荒子コミュニティセンター
	10:00～12:00	春田公民館		10:00～12:00	篠原コミュニティセンター
	14:00～16:00	JA下之一色支店		14:00～16:00	八幡コミュニティセンター
	13:30～15:30	中川ふれあい広場		13:30～15:30	富田地区会館
水曜日	9:30～11:30	愛知コミュニティセンター	金曜日	9:30～11:30	露橋コミュニティセンター
	10:00～12:00	富永神明集会所		10:00～12:00	中島公民館
	13:30～15:30	昭和橋コミュニティセンター		13:30～15:30	富田北地域センター
	13:30～15:30	東起町公民館		13:30～15:30	助光荘集会所



名古屋市中川区共同募金委員会から

～平成20年度赤い羽根共同募金実績報告～

10月1日から12月31日まで行いました赤い羽根共同募金運動にご協力いただきありがとうございました。

お寄せいただいた募金は、中川区社会福祉協議会における地域福祉推進事業、愛知県内の民間社会福祉施設の事業及び整備に活用させていただきます。



<平成20年度赤い羽根共同募金実績>

- 一般募金 **13,197,880円**
 - ・ 家庭から **8,477,492円**
 - ・ 会社から **3,530,137円**
 - ・ 学校・幼稚園・保育園から **673,823円**
 - ・ 職場から **56,751円**
 - ・ その他(イベント募金、赤い羽根協力店など) **459,677円**
- 歳末たすけあい募金 **382,209円**

ご協力ありがとうございました

～大口寄付者(法人・団体)敬称略・五十音順～

- 打出保育園
- 岡崎信用金庫 尾頭橋支店・中川支店
- 株式会社 玉越
- 株式会社 日成電機製作所
- 瀧上工業株式会社
- 天年寺
- 中川区子ども会連合会
- 中川区老人クラブ連合会
- 中川区役所職員一同
- 中川保育園
- 名古屋掖済会病院
- 名古屋市立工業高等学校全校生徒一同
- 松蔭病院

平成20年度賛助会員加入状況報告 (平成21年2月末現在)

賛助会員にご加入をいただきありがとうございました。
みなさまにご協力いただいた賛助会費は、福祉活動やボランティア活動の推進、高齢者のための福祉事業など、中川区の福祉のために活用させていただきます。

平成20年度実績
(内訳)

個人会員

9,763名

11,896,657円

法人会員

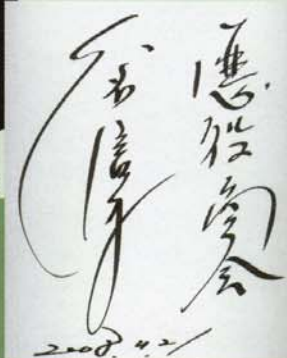
559名

2,549,000円

八名信夫さん サイン色紙 プレゼント



本当は、とても気さくでユーモアたっぷりの八名さん。



平成20年11月21日に、俳優の八名信夫さんをお迎えして「出会い、ふれあい、人の味」をテーマに、福祉講演会を開催しました。

悪役俳優としての経験と強面を活かし「地域の子どもの叱れるおとなになろう」と人とのふれあいの大切さをお話いただきました。来場者からも「勇気をもらえた」と大変好評だった、八名信夫さん。その八名信夫さんの直筆サイン色紙を抽選で5名の方にプレゼントします。

なお、当選者の発表は色紙の発送をもってかえさせていただきます。

*応募方法

官製はがきに、郵便番号、住所、氏名、本誌の感想をご記入の上、本会まで郵送してください。 ※いただいた個人情報は、色紙の郵送のみに使用させていただきます。

*締め切り

平成21年3月31日(火) 消印有効

ボランティア紹介

1月22・29日、2月5・12日の4日間、視覚障がい者支援ボランティア養成講座を開催し、視覚障がい者の方が、日常生活で困っていることや工夫していること、点字やガイドヘルプの仕方などを学んでいただきました。そのとき協力していただいたボランティアグループ2団体を紹介します。

点訳ボランティアグループ チューリップ

Q: どのような活動を行っていますか?

A: 平成4年に結成され現在13名で活動しています。活動内容は中川区在住の視覚障がい者への通信文送付と個人の依頼文の点訳などや学校の福祉体験学習のお手伝いです。グループの定例会を毎月第1、3木曜日の10時から12時に、社協の会議室で行っています。

Q: 視覚障がい者と接するときに気を付けていることは?

A: 文章の読み書きで目を貸して欲しいと言われるりしますが、基本的に一般の方と同様に接しています。



講座での様子

ガイドヘルプボランティアみちしるべ中川

Q: どのような活動を行っていますか?

A: 平成15年社協のボランティア講座に参加した者が立ち上げました。活動内容は中川区在住の視覚障がい者の会議やバス旅行のお手伝い、学校の福祉体験学習の講師などです。現在5人で活動しています。興味のある方はご連絡ください。

Q: 視覚障がい者と接するときに気を付けていることは?

A: ガイドをするときに気を付けることは第一に安全です。安心して行動できるようにお手伝いします。また、できるだけ視覚障がい者のご要望に沿うよう努めています。



講座での様子

ボランティア募集

本会では「ボランティアをやりたい!」という方にボランティアの募集お知らせや、イベント情報などを提供しています。「空いている時間をボランティア活動に...」「何か新しいことをはじめたい!」と考えていらっしゃる皆さん、ボランティア登録をしませんか?

*本会ホームページでは、ボランティアを募集している施設の情報を掲載しています。興味がある方は本会までご連絡ください。

高齢者施設で
お話し相手

障がい者施設で
外出付き添い
作業の手伝い



ボランティア保険 加入のご案内

安心して安全にボランティア活動するために「ボランティア保険」に加入しましょう! ボランティア活動中の事故により、自身がケガをしたり、他人にケガをさせたり、他人の物を壊してしまった場合などに対する保険です。万一の事故に備えて加入をお勧めします。

ご不明な点がございましたら、本会までご連絡ください。

*3月26日(木)から平成21年度分の加入を受付します。

寄附のお礼

寄附金は中川区の福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。(順不同)

中川仏教会 様
中部電力株式会社港営業所 様
(株)ヤマナカ新中島フランチ館お客様各位

お祝いことや香典返しにかえての寄附を受け付けております。香典返しについては、あいさつ状をご用意いたします。

編集・発行

社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

〒454-0911 名古屋市中川区高畑四丁目143 アネックス高畑2F
(高畑交差点北西角・地下鉄高畑②番出口直進)

TEL (052) 352-8257 FAX (052) 352-3825

メールアドレス nakagawaVC@nagoya-shakyo.or.jp
ホームページ http://www.nakagawashakyo.jp

＝この広報誌は、共同募金配分金と賛助会費を財源に作成しました＝

*Welなかがわ(年4回)の定期購読や音訳版・点訳版をご希望の方は本会までご連絡ください。

「Welなかがわ」は、再生紙を使用しています。